

# 3 施設整備計画

## 1. 施設整備計画の基本的な考え方

- (1) 複合化による効果を最大限に引き出す
- (2) バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮する
- (3) 防災拠点施設としての利用を考慮する
- (4) 新しい生活様式へ対応する
- (5) 財政負担を軽減する

## 2. 敷地条件の整理

計画敷地については、現在の藤久保地域拠点（藤久保小学校、藤久保児童館、藤久保学童保育室、中央図書館、藤久保公民館、保健センター、藤久保出張所、商工会館が存する鎌倉通りを挟んで東西に分かれた敷地）の範囲（約23,185㎡）とします。東側敷地について、歩行者及び車両交通の安全性確保のため敷地東側の道路拡幅を行います。また、土地の有効活用のため北側道路を付け替えます。

## 3. 施設規模及び諸室要件

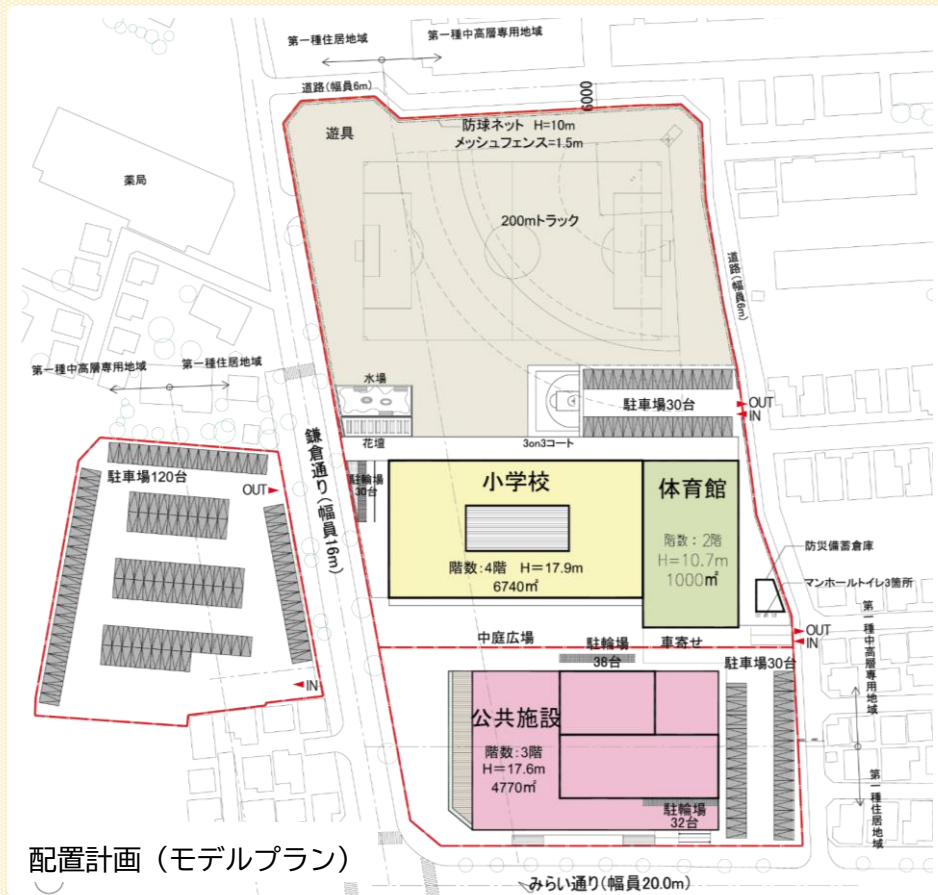
諸室の要件及び全体の施設規模を整理します。共用部、設備スペース等として全体の約30%程度を見込んでいます。

複合公共施設		計: 4,770㎡
①図書館関連諸室	1,350㎡	
②公民館関連諸室	485㎡	
③子育て関連諸室	365㎡	
④管理諸室	480㎡	
⑤その他 (コミュニティスペース、コワーキングスペース、小会議室、大会議室、多目的室、印刷室)	460㎡	
⑥商工会	290㎡	
⑦社会福祉協議会	195㎡	
⑧民間施設	80㎡	
共用部(トイレ、廊下、EV等)	1,065㎡	
小学校		計: 7,740㎡
校舎	6,740㎡	
体育館	1,000㎡	

※⑥、⑦、⑧は基本計画想定規模とします。

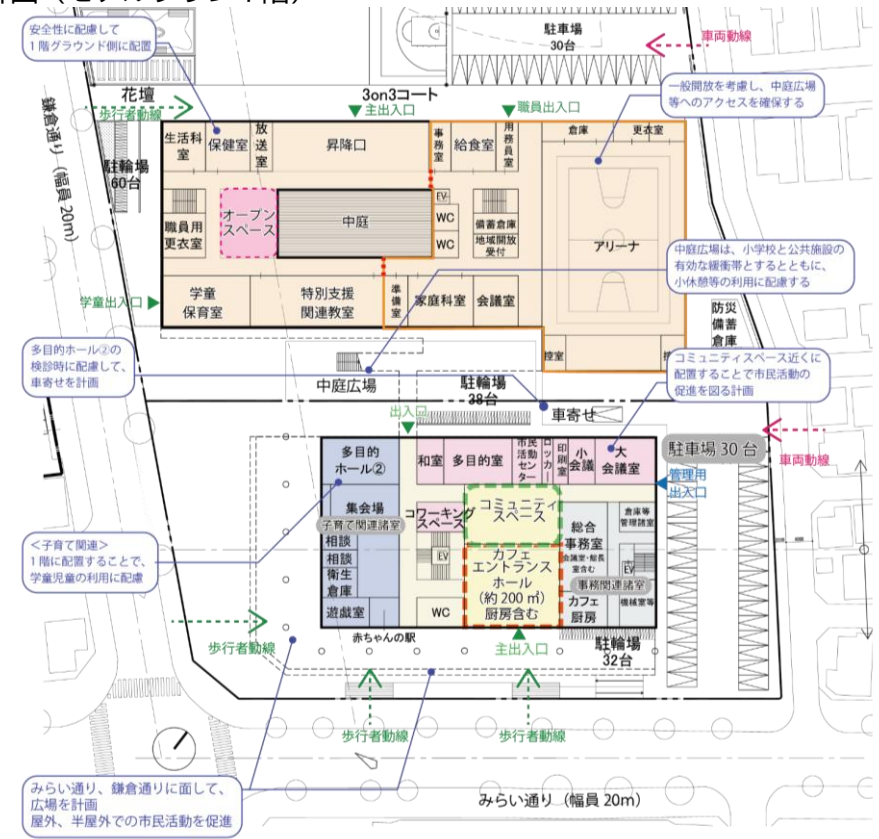
## 4. 配置計画・平面計画

フロア計画・階構成については、各種条件・要件を満たす施設整備が可能であることを、モデルプランの作成を通じて確認します。モデルプランでは複合公共施設は3階建てで3階には商工会や社会福祉協議会が、小学校は4階建てで3～4階は普通教室や特別教室が想定されます。今後の設計において、建物形状や配置等に応じて十分検討していく必要があります。

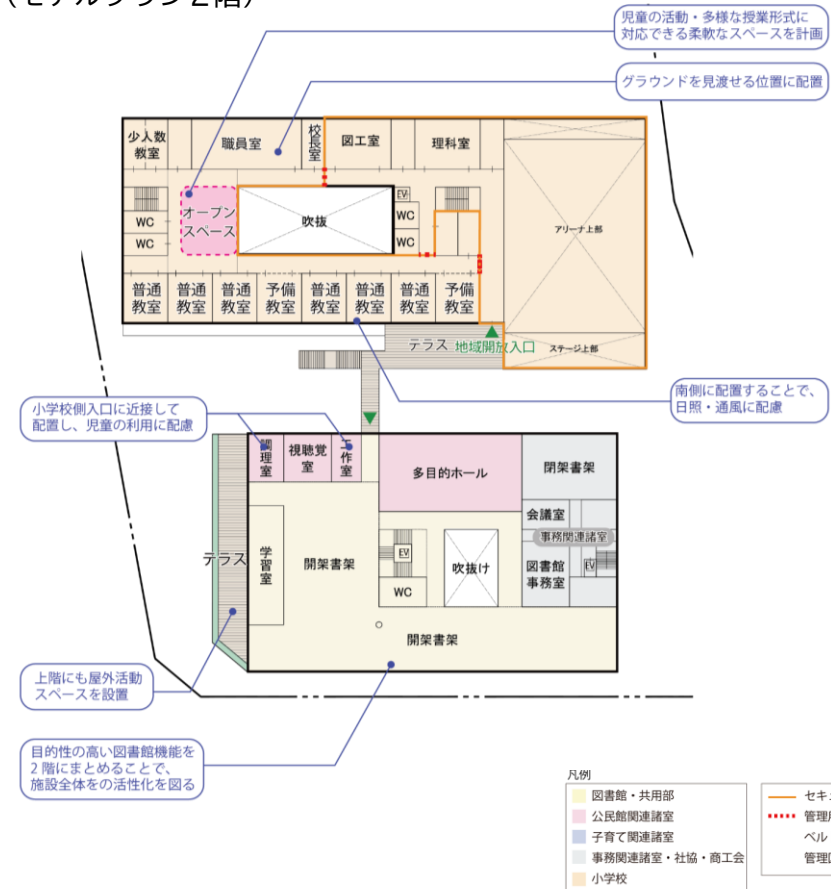


配置計画 (モデルプラン)

## 平面計画 (モデルプラン1階)



## 平面計画 (モデルプラン2階)



- 凡例
- 図書館・共用部
  - 公民館関連諸室
  - 子育て関連諸室
  - 事務関連諸室・社協・商工会
  - 小学校
  - セキュリティライン
  - 管理用扉・管理用シャッター
  - ベルトパーティション等で管理区画を形成